

学校名 草加市立栄中学校

所在地 草加市松原3-7-1

電話 048-941-2587

1 本校の概要

広い校地と多くの木々や草花等、大変恵まれた自然環境と学習環境の中で生徒はのびのびと生活しています。たぬきも生息しています。部活動は運動部、文化部ともに盛んで、陸上、水泳、女子バレー、男女ソフトテニスなど多くの部活動が県大会出場の実績があります。また、文化部においても、美術部や吹奏楽部が県展、地区展で入賞するなど、様々な場面で活躍しています。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- イ 学校司書を活用した取組
- ウ 学校図書館の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
 - ・毎週火曜日と金曜日の朝8:35～8:55まで、朝読書の時間を設けている。
 - ・情報委員会による学級文庫の選定（10冊）を学級数分行い、一か月ごとにローテーションして配置している。
 - ・読書感想文コンクールへの応募促進により、生徒が新たな一冊を読み親しむ機会を設けている。
 - ・2学年の国語の授業にて、学期に一度程度（年度初めや長期休業日前）、学校図書館にて読書に親しむ時間を設けている。
- イ 学校司書を活用した取組
 - ・教職員と学校司書の関係が構築されており、生徒の利用や教職員向けの図書貸出し・リクエスト募集が円滑に行われている。
 - ・始業前の学校図書館を開館することで、付近に教室のある3学年生徒が利用している。
 - ・図書館便りの定期的な発行による、利用案内と新着図書の周知を図っている。
 - ・後述の環境整備に、学校司書が主体的に取り組んでいる。
- ウ 学校図書館の環境整備の工夫

- ・一般生徒がポップを書き、それを掲示することにより、一般生徒の読書への関心を高め、教職員の生徒理解を深める。
- ・(株)少年写真新聞社の「図書館ニュース」付属のポスターを学校図書館内外に掲示し、生徒は最新の情報に触れることができる。
- ・目に留まりやすいカウンターや入口付近のテーブルには、季節や行事等に応じた配架と新着図書の紹介を行っている。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
朝読書の時間については、全学級において静かに読書に親しむことができていることから、学校での読書習慣は身に付いていると言える。

- イ 学校司書を活用した取組
生徒・教職員と学校司書の間に信頼関係があるので、毎日の昼休みに生徒が学校司書に本について楽しそうに語る姿が見られる。

- ウ 学校図書館の環境整備の工夫
季節感のある装飾と新着図書のPRにより、温かく利用しやすい雰囲気醸成され、学年を問わず生徒や教職員による利用が絶えない。

(2) 課題

- ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
利用生徒が固定化されており、広大な校舎で学校図書館から遠い学級の生徒による利用が比較的少ない。

- イ 学校司書を活用した取組
司書教諭と学校司書間の報告・連絡・相談が不十分なケースがある。

- ウ 学校図書館の環境整備の工夫
生徒会組織である情報委員会が環境整備に関わっていない点は、検討の余地がある。

(3) おわりに

- 本校は図書委員会をもち、校内放送と図書貸出しを一つの専門委員会が兼任しているので、その点を短所とするか長所とするかで、今後の読書活動の充実が決まると考える。